長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2024 MAY VOL.424

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



研修医代表の諸君です。37名の研修医がスクラムを組んで頑張っています。

先端医療特集

明日を担う Vol.23
・平原 拓馬
（クリティカルケア特定認定看護師・フライトナース）

第40回臨床研修研究会を開催しました。

TOPICS
・令和5年度院内臨床研究発表を終えて

人生100年時代の予防医療
第8回　高齢者の肺炎球菌ワクチンについて

ガーデニングだより Vol.14

院内さるく Vol.16
病床管理運営委員会

今月の一皿

臨床検査科だより Vol.5

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

先端医療特集

経尿道的水蒸気治療 Rezūmシステム

（Water Vapor Energy :WAVE）

泌尿器科部長　錦戸 雅春



図1. Rezūmシステム

2022年9月に保険適応となり、本年当院が長崎県で先駆けて導入した前立腺肥大症を低侵襲に治療する新しい手術法、経尿道的水蒸気治療（Water Vapor Energy :WAVE）、Rezūmシステム（図1）についてご紹介します。

方法は①適切な麻酔をした後、デリバリーデバイス（図2）を尿道より挿入します。②デリバリーデバイスの先端からは水蒸気を送り出す針が出るようになっており（図3,4）、内視鏡で確認しながら適切なところで針を前立腺の肥大した組織に直接差し込み、水蒸気を注入します。（図5-1）③水蒸気は、前立腺組織の間質と呼ばれるスペースの部分を伝って充満します。水蒸気は約103℃ですが、前立腺は体温と同じですので、水蒸気が前立腺細胞に触れて温度が下がることで、水蒸気治療を行った部分が約70℃になります。この過程で治療部分の前立腺細胞は破壊され、その後約1～3か月かけて自然に体内に吸収されていきます。こうして、肥大していた前立腺が小さくなり、前立腺肥大症からくる下部尿路症状が緩和されます。（図5-2, 3）

1か所にかかる治療時間は9秒、全体の手術時間も10分程度です。出血も少なく、欧米では日帰り手術を行っているところもあります。

この手術は合併症のリスクが高い方や高齢、認知機能障害など術後の身体機能低下リスクが高い方で、従来の経尿道的に電気メスややレーザーによる切除手術に適さない方が適応となり、抗凝固剤服用中の方にも注意すれば休薬せずに施行できるといわれています。

これまでとは異なる対象患者さんに低侵襲手術を行って、排尿状態の改善や、カテーテル留置からの離脱を進めることが期待できます。


図2. デリバリーデバイス


図3


図4

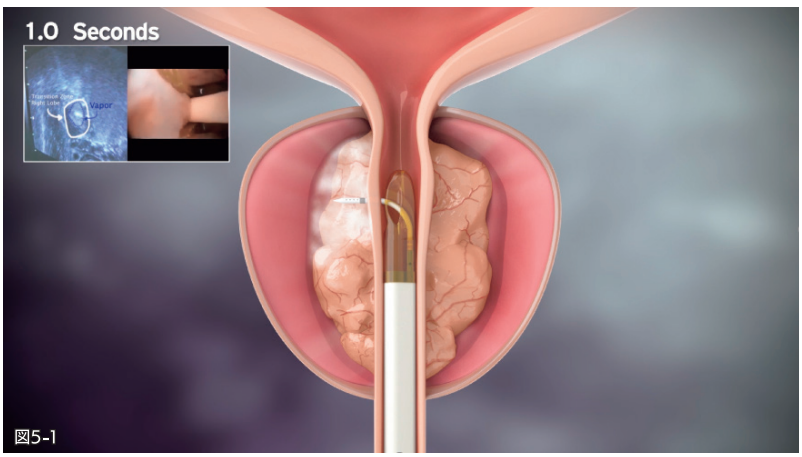


図5-1

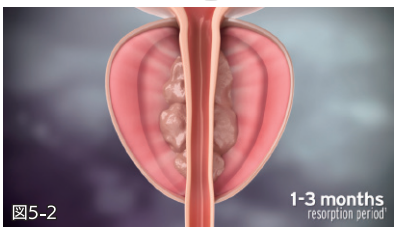


図5-2



図5-3

明日を担う

Vol.23

当院の“明日を担う”スタッフに、
work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。



クリティカルケア特定認定看護師
フライトナース

平原（ひらばる） 拓馬（たくま）

profile

出身地：佐世保市
好きな馬：スターズオンアース



Q:看護師を目指されたきっかけを教えてください？

A：体育教師である父と看護師である母の背中をみて育ったため、物心がついた時には、どちらかの道を歩もうか考えていました。学生時代、体育会系の部活動に明け暮れる日々を過ごし満足したからか、気がつけば看護師を目指していました。

Q：認定看護師教育課程を修了されたとのことですが、受講したきっかけは何ですか？

A：高度救命救急センターで経験を積み重ねる中で、急性期看護の質の向上や実践能力を備えた看護師の育成、救急領域での加算の充実化が課題として挙げられました。その課題達成の第一段階として、実践・指導・相談の3つの役割をもつ認定看護師の取得が必要であると考え、受講を決意しました。

Q：研修はどうでしたか？

A：他院の猛者達と共に勉学できることがとにかく刺激的でした。自分の中で当たり前だと思っていたことが違ったという事実に直面し、へこむこともありましたが、逆に自信をもてるきっかけにもなりました。また、急性期看護に関する知識や技術の修得に限らず、組織分析を通した戦略検討、教育や倫理に関して学びを深めることで、スペシャリストとして知識や技術を蓄積するだけでなく、多角的な視点と広い視野を身につけることができました。研修で同じ目標をもつ仲間ができたことがかけがえのない財産となりました。

Q：現在はどのような仕事をしていますか？

A：認定看護師として看護を実践するだけでなく、院内全体の学習会やシミュレーションの企画・運営、RSTやMETの活動の一部としてクリティカルケア領域における相談を受けています。

Q：仕事で大切にされていることは何ですか？

A：常に意識していることは、手段を目的化しないことです。日々患者さんの個別性を活かした目標に向け、看護ケアの立案と実践をしています。しかし、目標を実現するために看護ケアを選択したにも関わらず、それを実践すること自体を目的化してしまいがちです。常に患者さんの目標を振り返りながら看護実践をすることを意識し、手段を目的化しないように心がけています。

Q：今後のキャリアプラン、目標を教えてください。

A：まずは、上記に示した目的を達成できるまで、泥臭く働きます。（笑）　実践だけでなく、将来的には研究を専門的に学習したいという気持ちもあります。認定看護師として活動をしながら、高度実践看護師の取得やDNP・研究者コースの選択なども視野にいれ、地域と時代の需要にあったキャリアプランの形成をしていきたいです。余談ではありますが、最終的には小料理屋を営みたいです。（笑）



第40回 臨床研修研究会を開催しました。

副院長　吉田 真一郎

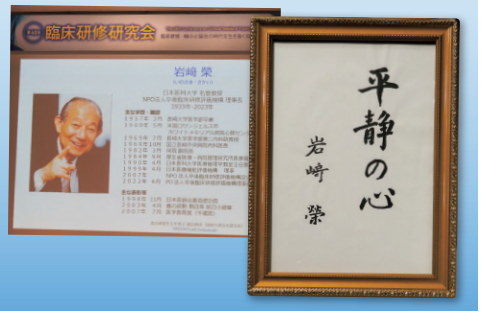
2024年4月27日、長崎市の出島メッセにて、第40回臨床研修研究会が開催されました。当院が幹事病院として二回目の開催となり、八橋弘名誉院長が大会会長を務めました。今回のメインテーマは「臨床研修 - 縮小と偏在の時代を生き抜く知恵と勇気」であり、テーマに沿った2つのシンポジウムとポスター発表、さらに恒例の「厚生労働省と文部科学省の討議」も盛り込まれ、活発な討論と意見交換が行われました。参加の皆さんからは大いに満足したとの感想もいただき、今後の活動への知恵と勇気を得る大変有意義な会となりました。また、今回は特別企画として、昨年10月に永眠された岩﨑榮先生を偲ぶ時間も設けられ、「岩﨑榮先生を偲んで ー岩﨑榮先生の追悼および功績を振り返る」として、八橋会長と長崎大学医療教育開発センター松島教授にご講演いただきました。参加者一同で岩﨑榮先生の思い出を共有し、臨床研修の発展に向けた思いを分かち合うことができたものと思います。今回の研究会はGW初日という日程にも関わらず、全国の臨床研修病院から162名もの方々に参加していただき、盛会のうちに終了することができました。研究会の準備や運営に携わっていただいた当院のスタッフの皆さんにも感謝申し上げます。











TOPICS

令和5年度院内臨床研究発表を終えて

外科医師　福井 彩恵子

長崎医療センターでは多職種の職員による院内臨床研究が盛んに行われています。未来の医療をより良いものにしていくことは我々医療者の使命と言えますが、そのためには、患者さんのご協力のもとに行う臨床研究がたいへん重要な意味を持ちます。毎年当院で実施される研究報告会では、部署や職種も様々なスタッフが意欲的な研究内容を発表し、非常に刺激を受けます。

私は外科医師として勤務しており、業務は外科手術が軸となりますが、今回の自身の研究では、手術における術者の視点、主観に焦点を当てた独自のテーマに取り組みました。日常の中で浮かぶ漫然とした疑問を拾い上げて言語化し、仮説を立て検証していく過程はとても興味深く、新たな視点を与えてくれます。甚だ遠い目標ではありますが、日々の臨床、研究の積み重ねの先に、わずかながらにも医療への貢献が叶うことを夢見つつ、一職業人としての矜持を持ち引き続きの活動に邁進したいと思います。



人生100年時代の

予防医療

～あなたらしく生き抜くために～

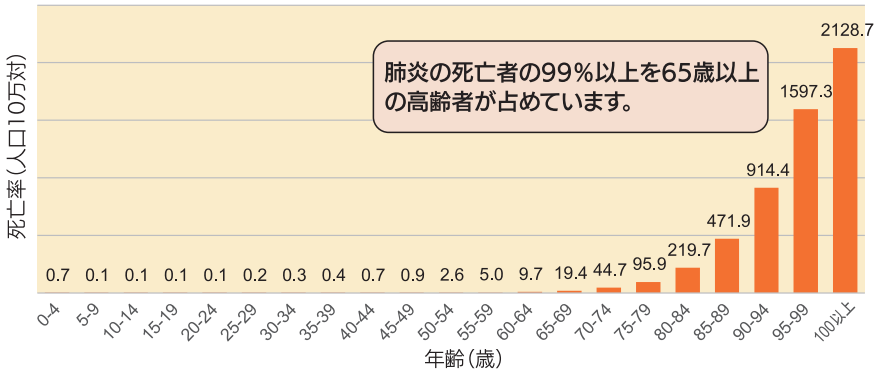
第8回　高齢者の肺炎球菌ワクチンについて

総合診療科　和泉 泰衛

肺炎は日本の死亡原因第5位であり、成人肺炎の2～3割は肺炎球菌が原因と報告されています。肺炎による死亡者の95％以上が65歳以上の高齢者です。また、肺炎球菌は死亡率の高い（ある報告では19％！）侵襲性肺炎球菌感染症（血液・髄液・関節液などに広がり重症化する状態）を引き起こします。そんな恐ろしい肺炎球菌ですが、肺炎球菌ワクチンは肺炎自体やその重症化を4～6割程度予防する効果が認められています。

ワクチン接種歴のない方は65歳になった年に★「定期接種」を受けることができます。65歳以上の方で接種歴がない方も「任意接種」は可能です。また、60～65歳の方でも持病があり、生活が制限されている方は「定期接種」が可能です。肺炎および重症化予防のためにもワクチン接種をお勧めします。かかりつけ医にまずはご相談ください。また、厚生労働省のホームページも是非ご参照ください。

肺炎の年齢別死亡率（2022）



（政府統計の総合窓口(e-Stat)(https://ww.e-stat.go.jp)より引用・作成）

★「定期接種」とは「予防接種法」という法律に基づき市区町村が実施する予防接種です。長崎県央地区では接種料金約8千円に対して、各市町から助成金があり自己負担は4～5千円（市町による）となります。

ガーデニング便り Vol.14

今回紹介するのは、デンドロビウムです。樹上のコケなどに着生するランの仲間です。花言葉は「わがままな美人」だそうです。私が所属する「小江原テニスクラブ」の後藤さんがテニスコートの樹上に植え、先日、開花しました。後藤さんは86歳の現役テニスプレーヤーです。

副院長　黒木 保



院内さるく

Vol.16 病床管理運営委員会

当委員会は毎月第一木曜日に行っています。委員長は私於久ですが、副委員長として吉田副院長、本村統括診療部長、看護部からは穴井副看護部長も参加していただき、総勢20名の医師、看護師、事務、地域連携室の医療関係者で主に毎月の①患者数、②DPCや看護必要度、③退院支援加算診療点数等を議論しています。病院運営に少しでも貢献できるように話し合っていますので、病床管理に関してなにかあれば相談してください。

病床管理運営委員長　於久 幸治



今月の一皿

#2024　ジャーマンポテト

じゃがいもは、カリウムやビタミンCなどを多く含む食材です。
新じゃがに多いと言われるビタミンCはコラーゲン合成に関わり肌のハリ・ツヤ・シミ予防に関連するので暑くなる前から取りたい栄養素ですね！

栄養管理室
荒木 翔太

ジャーマンポテト

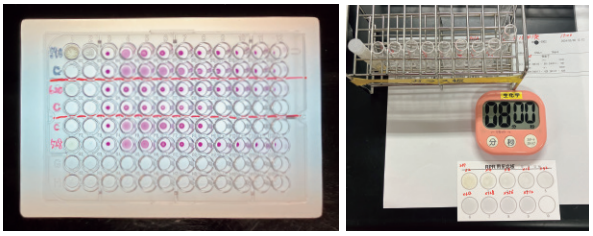


臨床検査科だより Vol.5

検査科　木佐木 智仁

皆さんが感染症といわれて思い浮かべるものは、2020年から猛威を振るった新型コロナウイルス、毎年流行するインフルエンザウイルスが多いのではないでしょうか。最近ニュース等でも取り上げられていますが、2011年では約1,000件だったものが右肩上がりに増加し、2022年には10,000件を超えるまでになっている感染症といわれて思い浮かんだ方はいますか？その増加している感染症とは**【梅毒】**です。感染経路は、性行為や母子感染であり、SNSの普及などにより不特定多数との性交渉が増えていることが要因の１つであると考えられています。

当院の梅毒検査は脂質抗原法（STS）として間接凝集法、TP抗原法としてゼラチン粒子凝集法（TP-PA法）を実施しています。これら検査の陽性判定は、機械による自動測定ではありません。検査技師が１検体ごとに血清と試薬を混ぜ合わせ、目視にて凝集の有無を判定します。検査技師の技量によって判定に差が出てしまう可能性があるため、同一の結果で報告できるように教育訓練を日々実施しています。

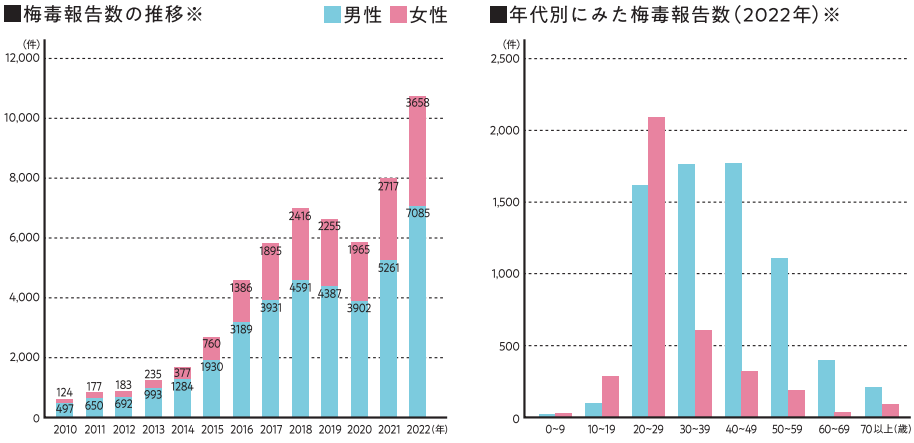


日々の業務訓練だけでなく、国立病院総合医学会をはじめ、各分野の専門学会、研修会に参加し、最新知識の習得に努めています。また、ICTやNSTなどのチーム医療にも可能な限り参加し、臨床やほかの診療支援部門とも情報の共有を行っています。

当科は一般・血液、生化学・免疫血清、輸血、病理、微生物、生理、採血部門で構成されており、それぞれの部署に専門的な知識を有した検査技師が在籍しています。

検査に関してお困りの際は、お気軽にお問い合わせください。





※2021年は、第1～52週2022年10月8日時点集計値（暫定値）、2022年は第1～44週2022年11月9日時点集計値の報告を対象

性感染症｜厚生労働省（mhlw.go.jp）より引用

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和6年6月1日現在

	月	火	水	木	金
総合診療科	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科	★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★児嶋　知仁 山崎　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山崎　一美 八橋　弘	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科	★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科	★安井　順一 ★片岡　こころ 山崎　悠介	★山崎　悠介 安井　順一 片岡　こころ	★安井　順一 山崎　悠介	★山崎　悠介 安井　順一	
腎臓内科	★岡　哲 山下　由恵		★伊達　雅浩 岡　哲	山下　由恵	★山下　由恵 伊達　雅浩
循環器内科　午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	★森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
循環器内科　午後	★小出　俊朗	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科	★原　敦子 池田　喬哉	★末原　照大	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★西村　紗央里
脳神経内科（神経内科）	★德田　昌紘 ★佐藤　和明 足利　裕哉	★岩永　洋 ★足利　裕哉	德田　昌紘		★岩永　洋 德田　昌紘
膠原病・リウマチ内科	★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科　午前	★本田　涼子（神経） ★山田　洸夢（第2・3・4）（心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 桑原　義典（第1）（心臓）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★濱口　陽（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） 田中　茂樹（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★山田　洸夢（心臓・一般）	★西口　亮（第1・3・5）（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
小児科　午後	★小児外科（第3週） 本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科　①外来紹介・新患	★石川　博士	★里見　直義	★石川　博士	★里見　直義	★中牟田　瑠璃
皮膚科　②旧患	里見　直義	石川　博士	中牟田 瑠璃	石川　博士	里見　直義
皮膚科　③入院中の紹介	中牟田　瑠璃	中牟田 瑠璃	里見　直義	中牟田 瑠璃	石川　博士
外科	★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺•内分泌外科） ★森田　道（乳腺•内分泌外科）	★北里　周（肝・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★南　恵樹（乳腺•内分泌外科） ★森田　道（乳腺•内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） ★福田　明子（大腸•一般外科） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科			★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科			★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志
脳神経外科	★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★吉田　道春
整形外科・リハビリテーション科	★伊藤　勇人 太田　真悟	宮本　俊之（★第1・3・5）（再 第2・4） 梅木　雅史（★第2・4）（再 第1・3・5）	★下永吉　洋平 熊谷　謙治	★伊藤　勇人 向井　順哉	★森　圭介
形成外科	★藤岡　正樹 ★西園　馨子	★古賀　一史 ★日吉　尚	★藤原　洸平	★藤岡　正樹 ★日吉尚 / 西園馨子	★藤原　洸平 ★古賀　一史
産婦人科	★古賀　恵 ★福田　雅史	★安日　一郎 ★山下　洋	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子	★福田　雅史 ★小川　真幸
泌尿器科	★大仁田　亨 錦戸　雅春	松屋　福蔵	★錦戸　雅春	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★松島　俊樹
移植後フォローアップ外来	錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★諸富　幸	★松井　彰子	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★諸富　幸	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★松井　彰子
眼科	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉	★前川　有紀 ★佐藤　健人 ★中尾　志郎 ★大槻　早紀 ★斉藤　淳哉
放射線科（治療）		★中村　太祐 ★武田　達哉			★中村　太祐 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.424